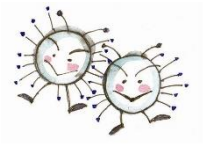

コンポストリーダーズミーティング資料集原稿

# 「ダンボールコンポス普及活動 10 周年を迎えました」

川崎市:環境を考え行動する会

## 【活動概要】

私たちの子どもや孫の世代に少しでもよい環境を残すため、できることから行動しようと、2007 年 8 月に発足した会です。翌年循生研に出会い、その 12 月 1 日にたいらさん、波多野さんの入門講座を麻生市民館で開催したのが、循生研方式のダンボールコンポスト普及活動のスタートです。あれから10年実践者が2100名を超えました。波多野会長とたいら理事長による「色々な堆肥化容器による使い方」を 10 周年記念講座として 12 月 2 日に開催します。

## 【メール通信 70 号を 1042 名に発信】

今年も自治会、町内会や生活クラブ生協、大地を守る会など~~の~~食にかかわる事業者、花壇やまちづくりのグループなどから講座の依頼があり、入門講座その約 1 ヶ月後を目途にアフターフォロー講座を行ってきました。継続率の向上を図るため、2～3 か月に 1 度のメール通信も第 70 号となり、登録実践者の約半数 1042 人に発信しました。

## 【福祉施設と連携して菜園講座】

今年明治大学を退官された藤原俊六郎先生の協力で「生ごみ堆肥を使った菜園講座」がやっと実現できました。以前より福祉施設・はぐるま農園でボランティア活動中のメンバーが実行委員会を立ち上げ、圃場をお借りして秋から 4 か月間の取組みです。

生ごみ堆肥への理解を深め、生ごみ削減とダンボールでの堆肥作り、設置型でのぼかし肥作り、そして木枠での腐葉土、緑肥作りを実践し、野菜作りを通して資源循環を目指します。参加者からは「おもしろい、すごい」と感想が寄せられ、土作りから種まき、間引き、収穫を体験し、生ごみ堆肥の底力を改めて実感しているところです。

## 【小学校での取り組み】

川崎市環境局のバックアップを得て今年も 4 校で取り組みました。3 年目の高津小では、家庭からの生ごみに加えて給食の食べ残しにも着目。リサイクルする前に生ごみ削減「給食残さないデー」と子供たちがキャンペーンした結果、食べ残しが減ったそうです。今年初めての下作延小で「環境を考えるだけではなく実際に行動する会の皆さんです」と紹介された時は、私たちも身が引き締まりました。

一方　住吉小、2 年目の小倉小では、学校主体で先生が授業をして児童が調べた内容で実践していくなど多様な形に発展してきました。失敗も含めこれからが楽しみです。

## 【川崎市環境局との連携】

前述の小学校取り組みと並んで川崎市内各区で開催される「公園愛護会合同連絡会」、「3R講演会」や麻生区子育てフェスタや明治大学黒川農場収穫祭などに出展したり、麻生区夏休み親子講座も恒例行事となりました。私たちはこれらに川崎市生ごみリサイクルリーダーとして派遣されています。＜2017 年度のべ 129 名（内当会メンバー111 名）＞

川崎市と市民団体との実行委員会形式で行われる「生ごみリサイクル交流会」は回を重ね第 7 回となり、今年は 12 月 1 日に循生研理事長たいらさんの基調講演、2部が地元の花壇グループの取組みと小倉小学校の堆肥化取組発表が予定されています。

## 【今後に向けて】

10 周年を迎えてさらなる飛躍の活動をと思いは高ぶりますが、他団体との連携も踏まえて菜園講座を継続するなど資源循環の輪を実践できる活動を地道にこつこつ目指したいと思います。

2018.11.20　記